

授業科目	特別研究 Special Study on Degree Thesis			担当教員	池永正人 落合知子 木村勝彦 滝知則 田中誠 城前奈美 山内美穂 川上直彦 Thom W.Rawson		
展開方法	演習	単位数	8単位	開講年次・時期	1～2年／通年	必修・選択	必修
授業のねらい							
<p>修士論文作成のために、指導担当教員が各院生に対して総合的な指導を行う。</p> <p>修士論文作成は、段階を追って計画的に取り組んでいくことが肝要である。指導担当教員の指示に従い、適切なテーマの設定を行う。論文の目次作成、テーマに関わる先行研究の文献収集、データ収集と分析を重ねながら修士論文の輪郭を明示し、オリジナリティな論文に仕上げていく。その過程で、各院生は修士論文の進捗状況の報告が必要となる。一定の学術水準を有する修士論文を完成するには、専攻内中間発表や研究科内中間発表、学会発表などを経て、議論を深めながら研究を継続する必要がある。発表の仕方、レジュメの作成方法等を含む修士論文作成に必要な研究上の技法を指導する。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	観光学分野の研究動向に興味を持ち、鮮明な問題意識をもつことができる。			授業の討議への参加	10%		
				中間発表会参加と報告	10%		
思考・判断	当該分野に新たな知見を齎す論点を考え、的確なデータ収集ができる。			修士論文	30%		
				公開試問会報告と質疑	10%		
技能・表現	論文執筆に適切な文章表現ができる。			修士論文	20%		
知識・理解	明確な論理展開ができる。			修士論文	20%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>主指導教員および副指導教員からの定期的な指導を受けるとともに、中間発表会・公開試問会に参加し、修士論文に求められる水準を学ぶ。論文の纏まりや完成度を考慮して、総合的に判断する。</p>							
授業の概要							
<p>本科目は、修士論文指導をその内容とし、主指導教員及び副指導教員からの定期的な指導である。修士論文の作成のみならず、口頭発表の仕方、配布資料の作り方、文章の纏め方、調査方法など、研究者に必要となる具体的な技術を身に付ける。これらの指導の過程において、必要な研究倫理教育を行うものとする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：個別に指示する。</p> <p>参考書：個別に指示する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>受講生は、各自のテーマに関する著書・学術論文を多く読み、高度な専門知識の修得に心掛けることが求められる。学会、講演会、研究会などへの参加、積極的な調査を实践するなど、研究に対して真摯に取り組み、自分自身の問題意識を明確にすることを期待する。</p>							